

祭ばやし

ビタミンC

第65号

平成26年7月1日発行

盛月号



「チンドンの街、萩原」
 5月25日(日)萩原商店街にて
 第48回萩原全国チンドン祭りが開催されました。

第65号 目次

■平成26年度新入社員研修	2	■スタッフ癒しのペットたち	6
■南地区ケアマネジャー会	2	■スタッフONとOFF	6
■デイサービス便り vol.2	3	■第25回今昔物語	7
■季節行事:あいふるの里・瀬音さくら山荘・新和楽荘・小川の里	4	■本田先生講演会6月13日	7
■季節行事:萩の里・風の苑マグノリア・大黒恵比須・田苑そよ風	5	■第九回介護の豆知識/編集後記	8

平成26年度新入社員研修



食事介助の演習風景です。先輩スタッフの説明の後、ファミリー役とスタッフ役に分かれての実践です。ご高齢者の心身状況の理解と、ファミリー目線での介助の大切さを学びました。



スライディングシートを使った、移乗・移動を学びました。ファミリーとスタッフの双方にやさしい介護をめざしています。

4月1日から新人スタッフ研修が始まりました。2週間にわたる研修で、26名全員が無事研修を修了することができました。内容は、社会人としての心構えから始まり、介護理念、接遇マナー、高齢者理解、介護技術などを先輩スタッフから学びました。研修が進むにつれ、不安と緊張した面持ちから、自信と希望に溢れる表情への変化が見られました。

今後の皆さんの活躍を期待しています。



研修最終日、長かった？研修を終えてほっと一息、明日からは各施設に配属され、26名ばらばらになりますが、同期の絆を大切にしてください。

南地区ケアマネジャー会

地域包括支援センターでは、1年間に4回担当地域のケアマネジャーをお招きし、様々な研修や交流会を行っております。

5月21日(水)に開催した第1回南地区ケアマネジャーのテーマは「高齢者虐待」と「成年後見制度」で、サービス事業所の方にもご参加いただきました。

前半では「高齢者虐待」について一宮市高年福祉課の方にも参加いただき、スタッフから「一宮市における高齢者虐待について」報告をさせていただきました。

参加者からは実体験に基づいた真剣な意見交換がなされました。

後半では地元萩原町二子の「ふたご司法書士事務所」の司法書士、井上聡先生に参加いただき「成年後見制度」について、ご講義いただきました。参加者からの質問にも経験された実例をもとに詳しくお答えくださり、大変勉強になりました。

住み慣れた地域で、ご高齢者の方々が自分らしい暮らしを送ることが出来るように、今後もこの様な活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。





デイサービス便り

vol.2

レッツ!フィッシング!!!

なんと!!デイホールに釣り堀がやってきました。釣りごたえのある重みのある魚から、挟むまでじっくりまって少しの間も逃さない様に釣り上げるエビ釣りまで…。熱心にその「一瞬」を待ち、釣り上げた時には大歓声があがりました。

釣り上げた物を料理!…と言うわけではありませんが、料理教室も楽しいひと時です。「苺のパンケーキ」を作りました。「焼けたかな?」「大丈夫かな?」とパンケーキをひっくり返す時の真剣な顔。思わずこちらにも手に汗握ってしまいました。



あふり
iFul no Sato

桜!満開♪ 笑顔!満開♪

4月にはお花見に行き、大きな桜の木の下を散歩し「綺麗だね」「この木は古いね」とご利用者、スタッフ一同、笑顔も桜も満開でした。日本人は桜を見ると日本人で良かった～と思いますよね～毎年欠かせない行事です。

その他、天気の良い日には、お弁当を作ってピクニックに出かけたりと、大勢で食べるご飯おいしいですよね♪
いつも明るく元気いっぱいの柿ノ木です!!



産・柿ノ木

行って来ました! 萩原チンドン祭!

5月25日(日)地元の最大イベント全国チンドン祭に出かけてきました。全国のチンドン屋さんが集い、露店が並ぶ中、「いい匂いがしますね」とご利用者と話し、祭り気分を味わいました。阿波踊りや沖縄エイサー太鼓のパレードを見物し、いよいよチンドン屋さんの登場!独自のお囃子としゃべり口調を満喫。青空の下での解放感も有り、いつもと違う充実感あふれた、ご利用者のお顔が拝見でき、スタッフも満足です。



ライフガーデン

萩の里

私たちとても元気な300歳です!

ご利用者仲間の和田さん、富田さん、野村さん(写真左から)は、3人合わせたお歳が300歳です。レクリエーション、クラブ活動、小川体操などに積極的に参加されています。地域の顔なじみの方々が多く『〇〇町の△△さんは知っとるかん(知ってますか)?』と声をかけてお話に花が咲いています。

他のご利用者様からは『100歳には見えませんねえ～』『お元気ですねえ～』と声がかかると満面の笑みがこぼれます。どんな時も『ありがと、ありがと』と感謝する気持ちを忘れないのは素敵なことですね。

いつまでもお元気でご利用ください。



安城
小川の里
高齢者福祉施設



5月18日(日) 雲ひとつない快晴の中、あいふる三大祭りのひとつである開所記念祭が行われました。祭りとあってファミリーの方々も朝からそわそわ「いつ連れてってもらえる?」「食べるものは何かあるの?」などととても心待ちにしていた様子でした。

出し物も迫力があり、見ごたえのある奥風太鼓や、緊張でいっぱいの中での新人スタッフによる踊りの披露。近隣の方、ファミリーの家族の方々も屋台の焼きそばやみたらし団子などをほおばり、笑顔で楽しませていました。



瀬音 さくら山荘 〓 ～さくら山荘・しゃくなげ荘合同ミニ遠足～



6月4日(水) さくら山荘ファミリーとしゃくなげ荘ご利用者との合同ミニ遠足で、白弓スキー場へ出かけました。スキー場には牛が放牧されており、牛を見ながらのんびりと散歩をして、お昼はスキー場レストランで朴葉すし弁当を皆でいただきました。昼食後は、施設対抗「風船バレー大会」を行い、お笑い満載の真剣勝負となりました。

体も存分に動かし、楽しい一日となりました。



ひだまりの詩

新和楽荘 〓

～10年目の開所記念祭～



5月24日(土)開所記念祭を開催しました。午前の部は、当日出勤の全スタッフ16組によるかくし芸を披露し、ファミリーとスタッフのデュエットやダンスなど趣向を凝らした芸により会場全体が笑顔に包まれました。午後の部は、ご家族をお招きして、みたらし団子とアイスクリームを召し上がりながら、楽しいひとときを過ごしていただきました。

今年で開所から10年目を迎え、スタッフもファミリーと一緒に楽しい一日を過ごすことができました。



～小川の里誕生祭～



5月11日(日)誕生祭を開催しました。当日は、雲ひとつない快晴にめぐまれお祭り日和となりました。安城市長神谷学様もご参加頂き、盛大なお祭りとなりました。懐かしい曲のギター弾き語りや、素敵なお着物での日本舞踊の披露もあり、ファミリーも釘づけでした。

また、模擬店では7種類を販売し、「美味しい」とたくさんの言葉を聞くことができました。短い時間でしたが、ファミリー、ご家族、地域の皆様と共にとっても楽しいひとときを過ごすことができました。



～龍の咆哮!響き渡る!!開所記念祭～



今年、施設開所13年目にあたり、5月24日(土)開所記念祭を行いました。楽天一座様による歌と踊りの華やかなショーや午後からは、毎年夏祭りを大いに盛り上げてくださる、定水寺太鼓龍鼓様による、龍の咆哮^{ほうこう}の様な、心とからだに響き渡る太鼓の熱い演奏をいただきました。普段身近で聞くことができない生の太鼓の演奏に、「お腹に音が響いた」と感動されるファミリーやご家族。ビュッフェ形式で好きなスイーツをお選びいただき、大満足の笑顔も見ることができ、開所記念祭は大盛況の中、無事終えることができました。



～花より団子!?!～



4月3日(木)桜満開の奥町公園でお花見をしました。のどかな公園で桜の花びらがちらちらと舞う絶好のロケーションの中、皆でおいしくお弁当を頂きました。豪華なちらし寿司に芋の天ぷらやから揚げ、煮物などのおかずが彩とりどり入っており、どれから食べようか迷いながら、桜の木の下で食べるお弁当は一段とおいしさが増していたようです。お腹もいっぱい、笑顔もいっぱい、最高のお花見を楽しむ事が出来ました。

また来年もお花見しましょうね!!



～竣功奉祝祭『稚児行列』に感激～



当施設のある東端町で『東端八剱神社』社殿の竣功奉祝祭が執り行われました。5月4日(日)には、施設の沿道もお稚児行列のコースとなり、1400名以上のお稚児さんと付き添うご家族等で5000名以上となる壮大な行列となり、朝から夕方まで延々と行列が続きました。

ファミリーの皆様は、ホールの窓を全開にして行列を眺めていましたが、そのうち、物足りなくなり、道沿いまで出て旗を振ってお祝いをしました。

なお、4名のお稚児さんに囲まれているファミリーの写真は、このファミリーのひ孫様達で、とてもお幸せそうでした。



～夏到来!!手打ちうどん始めました～



コシのある麺と、天然だしの効いたお汁が自慢である《そよ風手打ちうどん》をファミリーとスタッフで試行錯誤しながら完成させました。

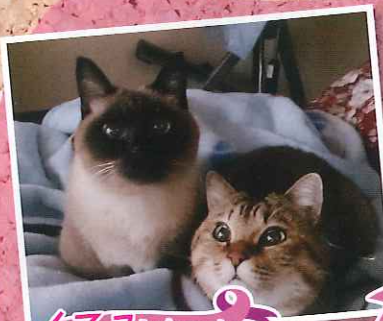
麺の長さや形はイマイチですが、味のバランスはプロの味!ファミリーの中には「昔、よくお袋が作ってくれた」と子供の頃を思い出させる、どこか懐かしい味でもありました。そんな家庭の味がする、そよ風ならではの想いのこもった一品を皆様も味わいに来てください。

次回は、蕎麦やパン作りに挑戦してみます。



スタッフ癒しのペットたち

日々、多忙な業務の中で、つかの間の癒しをくれるペットたちにスポットライトを当てて、ご紹介しています。
可愛いペットたちを見て、みなさん癒されてみてはいかがでしょうか？



くるみちゃん
大福くん



エルナ(エル)ちゃん
アイリア(アイ)ちゃん

あいふるの里
朝倉 節子



キラくん

あいふるの里
野田ひろみ

《コメント》

エルの好きな物はボールと人。私がテレビを見ているとボールを持ってきては「遊んで・遊んで」と催促します。また、ドックランでは飼い主より、他の飼い主さんのところに行つては、おなかを見せて「撫でて・撫でて」とアピールし、みんなの人気者になっています。フーはやきもち焼きで、エルと遊んでいると、必ず割り込んで膝の上に乗ってきます。また、それがかわいいです。

私にとっては家族同様で、なくてはならないペットたちです。家に帰ると玄関でまずは2匹の猫くるみ(♀)と大福(♂)が出迎えてくれ、リビングでは2匹の犬が出迎えてくれ、毎日の疲れを癒してくれます。

《コメント》

動物愛好家のママ友宅で生まれた、ハリネズミの子供たちの中から一番小さい子が、我が家の初めてのペットとなりました。

毎日、本を片手に手さぐりで餌をはじめ、可愛くてたまらず餌をあげていたら丸々と育ってしまい、のしのしと歩く姿は可愛かったですが、今はダイエット中。毎朝、餌をあげているのは私ですが、息子が名前を呼ぶとつぶらな目をして家から出てきます。

散歩や芸など何もませんが我が家においてくれるだけで癒しです。

スタッフ ON と OFF 私たち、仕事も遊びも全力です。

一宮市萩の里 居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 鈴木 篤史

ONの私



ON

私は、介護支援専門員として、ご利用者と介護保険制度の橋渡し役をさせてもらっています。いろいろな出会いなど、楽しいことも多く感じる毎日ですが、覚えることが沢山あり、困難なケースなど、先輩ケアマネやいろいろな分野の方に、教えていただきながら、日々悩み勉強しつつ、楽しみつつ励んでおります。

OFFの私

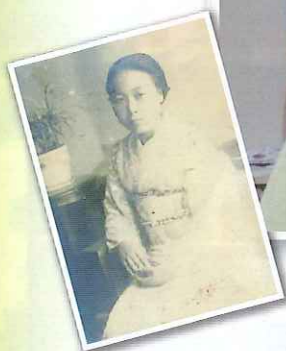


OFF

息子と一緒に「国府宮はだか祭」に参加して、今年で5回目です。毎年、最も寒い時期の旧暦1月13日に開催される、このお祭り、当日は寒くて、もう二度と出ないって心に誓うのですが、年明けの頃から祭りが近づくにつれて、体がむずむず、そわそわして結局参加してしまいます!!はだか祭病の重症患者です。

今昔物語

第25回



三浦ふみ子さんは、大正7年8月19日に宝飯郡形原村（現在の蒲州市形原町）で9人弟妹の長女としてお生まれになり、95歳になられます。

小学校卒業後、蒲州市内の機械工場で働かれ、23歳の頃に4歳年上のご主人様と結婚。その後、2人のお嬢さんと4人で生活されてきました。

たくさん苦勞もあったそうですが、困っている方を見ると必ず手を差し伸べる優しいふみ子さん。9人弟妹の長女で育ち、面倒見が良いのでしょうか。「昔から曲がったことが嫌いで、負けず嫌いなの」とよくおっしゃいます。

結婚後、ご主人様の仕事の都合で名古屋市内へ引っ越し、64歳の頃に2番目のお嬢さんのみえる九州の福岡へご主人様と引っ越されました。数ヵ月後、ご主人様は他界されてしまいましたが、それから30年近く福岡で暮らされ、91歳の時にご長女のみえる安城市へ来られました。

平成25年5月より小川の里で生活していらっしゃいます。いつもお部屋で手作りの花を作られたり、俳句を作られたりされています。どれも素敵な作品です。「今の生活が一番楽しい！」と今日も明るい笑顔でおっしゃってくださいました。

ふみ子さん、これからも健康で楽しい日々を一緒に過ごして参りましょう。



ここでは、「今昔物語」と題しまして、ご利用者の歩まれたさまざまな人生にスポットを当て、着かりし頃の思い出や、現在の生活を語っていただきます。
今回は特別養護老人ホーム小川の里ファミリィ、三浦ふみ子さんにお話を伺いました。

愛知慈恵会全体研修 本田浩一先生講演

6/13(金)に萩の里にて上林記念病院精神科医長 本田浩一先生による講演会を開催しました。

講演のテーマは「精神疾患を有する入所者についての理解」で、介護施設で関わりの多い主な精神疾患を挙げ、疾患のメカニズムや特徴、接し方のポイントを丁寧に解説していただきました。講演の終わりに、ケアをしていく上で一番大切なことは「病気を正しく理解する」ことであるとお話しいただきました。

また、4月から萩の里の産業医となつていただくことになり、これからはファミリーの心のケアだけでなく、スタッフの心のケアにも関わっていただくことになりました。



第九回 介護の豆知識

KAIGO no MAME chishiki



「口腔ケア」編 Vol.2

加齢とともに、唾液の分泌は少なくなります。それにともない、口の中の清潔が保ちにくくなり、細菌が多い状態になりがちです。そしてその状態のまま食事をして、誤嚥すると肺炎をおこしやすくなります。お食事の前には口腔ケアをする習慣をつけたいものです。



ご自身で口腔ケアが出来る方

食事の前に口をすすぐことをお勧めします。

食事の介助が必要な方や、水分でむせやすい人

緑茶で口の中を拭うようにするといいでしょう。口腔ケア用のスポンジをお茶に湿らせ、口の中を拭うようにしてケアをします。

少しの水分でもむせやすい人

湿らせたスポンジの水分をティッシュなどで軽く押さえてから、使用するといいでしょう。

緑茶に含まれる成分のカテキンは、殺菌作用が高いとされ、口腔内殺菌に対して効果的であるだけでなく、インフルエンザなどのウイルス性の感染症を防ぐ効果もあると言われています。

食前、食後の手軽な口腔ケアは、高齢者の方はぜひ習慣化しましょう。



編集後記

5月25日(日)に第48回萩原全国ちんどん祭りが開催されました。萩原ちんどん祭りは、40年以上の歴史を持ち、市外・県外から数万人の観客が集まる萩原町が誇るお祭りです。今号の表紙の写真は、長年ちんどん祭りの写真を撮り続けているカメラマンの方から好意でご提供いただいた貴重な写真です。素晴らしい写真を提供いただいたこと厚く御礼を申し上げます。10月にも秋のちんどん祭りが開催されるそうですので、興味がある方は立ち寄らせてみてはいかがでしょうか。

祭ばやし 65号 編集委員 K.K



あいがいっぱい 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸宇余陸寺45-1 TEL.0586-78-8441 FAX.0586-78-8485	横丁のデイサービスセンター 産・柿ノ木 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸宇小山65-1 TEL.0586-78-2171 FAX.0586-78-2172	ライフガーデン 萩の里 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原36-1 TEL.0586-68-7311 FAX.0586-68-5826	風の苑 マゲノリア 〒491-0051 一宮市今伊勢町馬寄字東瀬古55-1 TEL.0586-47-6811 FAX.0586-47-6812	雅び・遊び・喜び 田苑そよ風 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1 TEL.0586-67-2611 FAX.0586-68-5799	ひだまりの詩 新和楽荘 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1 TEL.0586-67-2311 FAX.0586-68-7337
こはるびより 〒444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL.0566-73-7011 FAX.0566-73-7010	春のかほり 田苑春風 〒444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL.0566-99-6514 FAX.0566-99-6524	あかねぞら 大黒・恵比須 〒444-1213 安城市東端町山ノ神115-1 TEL.0566-48-8111 FAX.0566-48-8110	白川郷 日本一小さな特養 瀬音 さくら山荘 〒501-5503 岐阜県大野郡白川村長瀬字小保木755-1 TEL.05769-5-2141 FAX.05769-5-2170	大白川温泉デイサービスセンター しやくなげ荘 〒501-5506 岐阜県大野郡白川村御母衣316-22 TEL.05769-5-2217 FAX.05769-5-2269	SINCE1989 法人本部事務所 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸宇余陸寺45-1 TEL.0586-78-8438 FAX.0586-78-6135

社会福祉法人 愛知慈恵会
 高齢者福祉施設 **新和楽荘**

〒491-0363 愛知県一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1
 TEL.0586-67-2311 FAX.0586-68-7337

スタッフ募集中

只今スタッフを募集しております!!

- お問い合わせ
- あいふの里 TEL: 0586-78-8441 (総務)
- 萩の里 TEL: 0586-68-7311 (総務)
- 小川の里 TEL: 0566-73-7011 (総務)
- 新和楽荘 TEL: 0586-67-2311 (総務)
- 瀬音さくら山荘 TEL: 05769-5-2141 (総務)
- 風の苑 マゲノリア TEL: 0586-47-6811 (総務)

介護スタッフ
 看護スタッフ
 ホームヘルパー
 夜勤スタッフ



■詳しくはホームページ

愛知慈恵会 検索 >GO!!

<http://www.iful-jikeikai.com>